

“伊深社会福祉協議会” だより

第23号

平成26年6月

こどもたちと地域の将来のために誕生した「ほくぶ保育園」が開園して、はや2ヶ月が過ぎようとしています。伊深地区と三和地区が合同で同じ保育園に通うという市制60周年を迎える美濃加茂市の歴史の中でも初めての取り組みです。まだまだ多くの課題もあると思いますが、少子高齢化により必ず他の地域でも同じ課題がおきることが予測されますので、その素晴らしいお手本となるような「ほくぶ保育園」となることを望んでいます。

◇ 第1回給食サービスが行われました ◇

今年もあじさい会の皆さんによる給食サービスが始まりました。第1回目となる5月8日には、お一人暮らしの方20名の方にお弁当を届けました。みなさんからは、このお弁当をととても楽しみにしているとの声をよく伺っております。

今回のメニューは、たけのご飯、鶏のから揚げ、フキの煮物、青菜のおひたし、金時豆、厚焼き玉子、人参寒天の7品目で、野菜あり、肉あり、デザートもあり、コンビニ弁当にも勝る豪華な品ぞろえでした。

次回は、11月頃を予定しています。

配達していただきました福祉委員の方々にもお礼申し上げます。



とてもおいしくいただきました。



作業風景

○ ご協力いただきましたあじさい会の 方々（敬称略）

大矢 邦子	井戸 雅子	篠田 純子
平田 美津子	長谷部 典子	堀田 みゆき
井上 美左子	遠山 くぎ	村井 敬子

◇ 第1回合同サロン実行委員会が開催されました ◇

5月11日(月)に、合同サロン実行委員会を開催しました。サロンは、概ね70歳以上の方が生きがいづくりなどを目的に集う会で、伊深地区には大洞サロン、上切サロン、下本郷サロン、関也サロンの4つのサロンが現在活動しています。その各サロンがお互いの交流を図り親交を深めることを目的に開催したものが合同サロンです。

昨年度は、正眼短期大学講堂をお借りして、「民謡ライブ」を催し、大変好評でした。

そこで、今年度も開催するかどうかについて各サロンの代表者の方々に話し合っていました。

その結果、みなさん賛成で、また今年度も開催しましょうということに決定しました。



開催時期は、昨年同様10月頃で、場所も正眼短期大学講堂をお借りして行う予定です。これから出演者や日程などを決めていくことになりましたので、各地区のサロンの会員様は、楽しみにお待ちください。

◇ 敬老会をより良い行事にするための意見交換について ◇

美濃加茂市では、毎年、町ごとに敬老会が開催されています。このところ、他のいろいろな行事にも同じように言えることですが、昔に比べ娯楽施設が増え楽しめる場所や機会も増え、交通手段もよくなり遠くまで楽しみに行ける時代となったせいか、地域で慣例的に行われる敬老会への魅力が薄れ、年々参加者が減ってきているようです。

しかし、このような残念な状況の中で、この伊深地区にあっては、対象となる方の約半分の方が参加するという市内ではとても優秀な参加率であることがわかり、伊深のみなさんにとって、この敬老会行事が、とても楽しみなものであることがよくわかります。

そこで、みなさんが楽しみにされている敬老会をこれからも末永く続けていけるようもっと楽しく、これまで参加していない方までもが参加してみたいくなるようなすばらしい行事を企画していきたいと考えています。

そのためには、これまでに敬老会に参加してきた方々からのご意見や、ご要望をお伺いし、今後の敬老会に役立てる必要があります。現在、どのような方からご意見等を伺うか事務局で思案していますので、もしご案内がありましたら、どうぞご協力をよろしくお願いします。



ご意見やご要望があれば、事務局(伊深連絡所)までお話しください。

電話 29-1395